



令和2年8月12日

各位

会社名 アクサホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 久岡 卓司
(JASDAQ・コード3536)
問合せ先 取締役経営管理部長 新藤 達也
(TEL. 078-251-8844)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和2年7月14日に公表した令和2年8月期(令和元年9月1日～令和2年8月31日)の通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和2年8月期通期連結業績予想数値の修正(令和元年9月1日～令和2年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 13,404	百万円 306	百万円 207	百万円 358	円 銭 11.82
今回修正予想(B)	13,404	427	326	477	15.74
増減額(B-A)	—	121	118	118	
増減率(%)	—	39.7	57.1	33.1	
(ご参考)前期実績 (令和元年8月期)	13,333	181	97	△42	△1.40

2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う令和2年4月発令の緊急事態宣言や移動自粛要請等により、長引く外出自粛や在宅勤務が浸透し、消費者の購買頻度や購買チャネル等、日常の消費活動に変化が生じております。進行中の第4四半期連結会計期間の月次業績において、小売事業は、新型コロナウイルスの感染予防対策の需要における衛生用品や巣ごもり消費の需要におけるライフスタイルを豊かにする雑貨、インテリア、DIY、ガーデニング用品等の商品需要の増加に対し、お客様に今必要とされる需要にスピーディーにお応えすることで収益が増加しております。卸売事業は、外出自粛によって日常生活における飲酒場面や機会に変化が生じているなか、新たな販売マーケットへのアプローチとして、巣ごもり消費によって自宅での飲酒場面が増加している個人消費者を中心とした層に向けてのネット販売の拡充や、外食業界のなかでも日常生活にちょっとした飲酒機会を提供しやすいレストラン向けの販売開拓に取り組んだことにより、前年同期並みの収益を確保しております。不動産賃貸事業は、中長期的な構造改革の一環として、高収益化に取り組んできたことにより、安定的な収益獲得に寄与しております。これらの各事業の状況により、営業利益、経常利益並びに親会社に帰属する当期純利益が計画値を上回って推移しております。つきましては、足元の月次業績も踏まえ、通期連結業績予想を上記のとおり修正するものといたしました。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上